

いとまん 市議会だより

第111号

令和元年6月5日発行

= 平成31年第3回(3月)定例会 =



西崎レクリエーションプールでプール開き

令和の初日となる5月1日に西崎レクリエーションプールでプール開きが行われ、多くの家族連れが訪れました。ウォータースライダー、流水プールなどでは子供たちのはしゃぐ姿が見られました。



第3回（3月）定例会において、文化交流・情報発信拠点施設整備推進事業の観光振興センター整備に関する予算（15億1,214万円）が可決されました。

平成31年第3回
(3月) 定例会

第3回定例会は、3月4日から3月25日までの22日間の日程で開催されました。

同定例会には、市長から平成31年度糸満市一般会計予算などの議案41件の提出がありました。

また、議員提出議案として意見書及び附帯決議等5件の提出がありました。議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

平成31年度一般会計
予算（当初予算）

本案は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ283億7798万円とするものです。前年度当初予算と比較しますと、40億3401万円の増となっております。主な新規事業は次のとおりです。

○防災士養成事業

178万円

○地域公共交通網形成推進事業
1000万円

○空家対策等推進事業

731万円

○拠点型親子の居場所推進事業 3571万円

○保育園等におけるＩＣＴ化
推進事業 ９７５万円

○プレミアム付商品券事業

1億1226万円

○特定地域経営支援対策事業
1億2044万円

○災害に強い高機能型栽培施設

設の導入推進事業

2億2523万円

○部活動指導員設置事業

982万円

障害者地域活動支援センター
陽だまり

糸満市部設置条例の一部を改正する条例について

本案は、平成31年4月1日から糸満市公共下水道事業が公営企業へ移行することに伴い、条例の一部を改正するものです。

指定管理者の指定について（糸満市障害者地域活動支援センター陽だまり）

本案は、公の施設である、糸満市障害者地域活動支援センター陽だまりの指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、あらかじめ議会の議決を求められたものです。

教育委員会委員の任命について

本案は、現委員の神村逸子氏の任期が、本年 3 月 31 日をもって任期満了することに伴い、新たに、与那嶺政裕氏を教育委員会委員として任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 4 条第 2 項の規定により、議会の同意を求められたものです。

工事請負契約について（仮称）糸満のくらし体感施設新築工事

本案は、（仮称）糸満のくらし体感施設を整備するため、工事請負契約を締結するものです。

本契約は、予定価格が 1 億 5 0 0 0 万円以上となるため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定により、議会の議決を求められたものです。

議員提出議案

糸満市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について

本案は、議会における会派又は議員に対し交付する政務活動費を月額 1 万円から月額 2 万円に引き上げるため、条例の一部を改正するものです。条例改正のもととなる議論を重ねてきた議会革調査特別委員会では、政策研究の充実や調査活動強化の必要性が提起され、政務活動費の増額要求が決定されました。これに伴い、市民に対する透明性をよりいっそう高めるために、平成 31 年度分より領収書等をホームページへ全面公開することも決定されました。



意見書等

第 3 回定例会では 4 件の意見書等を可決しました。

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書の提出について

あて先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について

あて先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣

介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について

あて先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣

議員提出議案

「議案第 3 号 平成 31 年度糸満市一般会計予算」に対する附帯決議

平成 31 年度糸満市一般会計予算は歳入歳出 283 億 7,798 万 6,000 円と提案され、その中で「糸満市ひとり親家庭生活支援モデル事業」に係る母子家庭生活支援モデル事業予算 510 万 4,000 円が計上されている。

この事業は、ひとり親家庭の経済的・精神的自立のための相談事業を初め、アパートを借り上げ、具体的に母子に寄り添い支援することを目的に開始された。事業開始 1 年目は、半年間で相談件数 167 件、2 年目は 725 件と、この事業所の認知度とともに急激にふえて、本市におけるひとり親世帯の困りごと解決の一助になっている。

しかし、平成 30 年度予算より大幅に減額され、事業継続や支援拠点事務所「糸満市マザーズスクエアいままる」の存続が危ぶまれている。さらに支援対象世帯に対する切れ目のない支援が継続できるか疑問視されるなど、さまざまな課題がある。

以上の内容を踏まえ平成 31 年度糸満市一般会計予算の執行については、議会として下記の意見を附帯する。

記

- 1 母子家庭生活支援モデル事業の継続、支援拠点事務所の存続が図れるよう追加の予算措置を講じること。
- 2 受託事業者と継続に向けた協議を速やかに行うこと。
- 3 支援対象世帯に対し、切れ目のない支援が継続できるよう対策を講じること。

以上決議する。

平成 31 年 3 月 25 日

糸 満 市 議 会

市政をただす

一般質問

平成 31 年第 3 回定例会では、3 月 14 日、15 日、18 日、19 日の 4 日間にわたり、18 人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1 人 1 項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧いただけます。

米須城跡について



玉城 哲郎 議員

米須城跡について小学校の授業に取り入れ、地元の歴史を学ばせ郷土愛を強くするべきだと思うがどうか。

教育委員会指導部長
小学校

の社会科学では、地域に伝わる伝統行事や史跡について学ぶ機会がある。実際に調査活動をして、見聞した内容を話し合い、由来などについて関心を持ち、写真や絵地図などの読み取りを通じて地域の昔の様子を捉える調べ学習などを行う。米須城跡を実際に教材として使うかは、学校の判断になる。見学する際の児童の安全確保や社会科学等の授業に利用できるか、学校と調整しながら調査研究していきたい。

哲郎 私は郷土愛を強くするために、地元の歴史をもっと学ばせるべきだと思っている。学校の判断になると答える。

哲郎 私は郷土愛を強くするために、地元の歴史をもつと学ばせるべきだと思っている。学校の判断になると答える。



米須グスクの案内版

ているが、教育委員会から強く推薦してほしい。また、指導部長は12月定例会で、学習指導要領の中でキーワードとなっているのが、主体的、対話的で深い学びにつながることをだと答えている。これは米須城跡の歴史を学ぶことにも当てはまることではないか。

教育委員会指導部長 このような体験等が、より深い学びにつながるしていくと認識している。授業に取り入れるかは各学校長の判断によるが、米須小学校にかかわらず、地域の教育資源を授業に活用することは非常に有意義である。

今後も各学校長へ地域の教育資源の活用については積極的に進めるようお願いしていく。

このよ
教育委員会指導部長

うな体験等が、より深い学びにつながるべくと認識している。授業に取り入れるかは、各学校長の判断によるが、米

須小学校にかかわらず、地域の教育資源を授業に活用することは非常に有意義である。今後も各学校長へ地域の教育資源の活用については積極的に進めるようお願いしていく。

糸満伝統文化（サバニ・ミーカガン）について



金城 悟 議員

サバニとミーカガンの市文化財指定に向けての進捗状況を伺う。

教育長
ミーカガンについて

は、本年2月7日に所有者から指定申請書の提出があり、本日開催される文化財保護委員会で、文化財指定に向けての審議が行われる。文化財保護委員会からの答申内容を踏まえて、本年3月28日の教育委員会議で、市文化財指定の議案として上程する予定となっている。サバニについては、所有者等からの指定申請書が提出された後に、文化財保護委員会で事前審査が行われる予定である。

金城 3月28日には、ミーカ
ガンを文化財指定するという
ことではないか。

教育委員会総務部長 教育委

教育委員会総務部長
教育委



ミーカガン

員会議において、文化財指定の議案を上程する。そこで議決されれば文化財指定ということになる。

金城 サバニの文化財指定は1年後と考えていいか。

教育委員会総務部長 サバニについては、まだ具体的な申請書が上がっていない。申請書が上がった時点で、そのサバニの製造、採寸など事前協議を行うことになる。それを踏まえて、文化財保護委員会で審査していただくという手続になっている。1年後に指定されるという約束は今のところできない。

金城 ぜひとも来年にはサバニも文化財指定できるようにお願いしたい。



新垣 安彦 議員

遊び型不登校の児童生徒の居場所づくりについて

①拠点型親子の居場所推進事業の概要について。②同事業を受けて教育委員会はどうに対応するか。③事業計画の予算は幾らか。④人員構成はどのように行おうのか。⑤浦添市のひなた学級の居場所づくりの資料をもとに組織的な運営に取り組んでほしい。

福祉部長 ①従来の子供の居場所では、地域において広く貧困の子供たちを対象に支援を行ってきたが、こうした子供たちのうちから不登校や発達障害がいなど、さまざまな困難な問題を抱え、通常の子供の居場所では支援が必ずしも十分ではないケースがある。こうした課題に対応するため、困難性の高い子供に対し、手厚い専門的支援を行う拠点型居場所を整備するものである。

教育長 ②不登校、非行の児童生徒に対して、コーディネーターが学校や関係機関と



青少年センター

連絡、情報を共有しながら、必要な支援等につながるよう調整を図る。③次年度より青少年センターを活用して、対象児童の支援に当たりたいと考えており、生活指導、キャリア形成等支援、就学継続支援、ソーシャルワークなどを実施する。事業費として、次年度に236万7800円を計上している。④統括責任者、社会福祉士、臨床心理士を各1名、コーディネーターを3名配置する予定である。

新垣 大事なことはこれからどういう形で取り組んでいくかである。那覇市のきら星学級、浦添市のひなた学級の居場所づくりの資料をもとに組織的な運営に取り組んでほしい。



国吉 武光 議員

福祉Gメンの活用について

①福祉Gメン活用による補助率を伺う。②現在生活保護担当職員は何名いるか。③法定で定められた職員数は満たしているか。④職員のメンタル面や財源面においても福祉Gメンの活用はプラスになるが配置する予定はないか。

福祉部長 ①国庫補助事業で補助率は4分の3である。②正規職員が8名、嘱託員が2名の計10名。そのうち1名が産休となっている。③平成30年11月末時点で保護世帯数は971世帯に照らした標準数は13名である。現在の職員数と比較すると、3名分不足している状況にあることから、現在嘱託員1名と臨時ケースワーカー2名を募集している。④ケースワーカーの配置を優先に考えていることから現時点で導入の予定はない。



福祉Gメンの配置を

国吉 国から4分の3の補助があるので、市の負担も少ない。市長、福祉Gメンの配置をお願いしたいがどうか。

市長 他の市町村の事例、あるいは厚生労働省の意向等、多方面から調査検討して、どのような効果があるのか、総合的に判断していきたい。

国吉 豊見城市や那覇市などは福祉Gメンを配置しており、配置により職員の負担が少なくなったという声がある。また家庭の中まで入り込むような調査は臨時職員では厳しい部分があるので、プロに任せざるべきである。遊技場への出入りや不正受給を調査するためにも福祉Gメンの配置が必要である。

道路行政について



金城 寛 議員

①県道那覇糸満線潮平入り口等の冠水問題の解決に向けた排水機能改善の進捗状況及び調査・設計内容等について、地元への説明等進捗状況。②同事業の設計内容、工法・規模・総合仮設計画。③工事の発注時期について伺う。

④阿波根兼城線（Ⅰ工区）潮平部分整備の事業内容及び着手・完了予定について伺う。

水道部長 ①2月18日に潮平地区と潮平西原地区の自治連絡員に説明を行っている。②排水路整備の工事範囲として潮平側から末端の西崎東排水路まで延長約373メートル、縦横1・3メートルのボックスカルバートをオープンシールド工法で予定している。総合仮設計画については、西崎東排水路沿いの仮設道路や仮設駐車道として利用する計画。



冠水問題の解決を

③埋設管路の移設工事の進捗状況を踏まえ、早ければ9月ごろにボックスカルバート排水路工事を発注する予定。
建設部長 ④両側歩道による標準幅員18メートル、総延長655メートルで、用地の進捗状況を考慮し、平成32年度以降の工事着手、完了は平成34年度以降を予定している。

金城 冠水問題については、工場で作成した排水路、ボックスカルバートを道路下に埋設して、上流域の潮平一帯の雨水を流末側に流して解決すると理解してよい。

水道部長 排水路を新設することにより、断面積が約4・7倍になり、排水機能は改善されると認識している。

ペットを同行した避難訓練について



金城 一文 議員

毎年行われている避難訓練の際にペットを飼われている方の避難を想定した訓練を実施する考えはないか。

総務部長 近年ペットは家族の一員であるという意識が一般的になりつつあることから、災害時におけるペットへの配慮が必要だと認識している。ペットとの同行避難の注意点としては、持ち運び用ケージの準備や感染症を防ぐためのワクチン接種、また避難所ではペット用品の備蓄がないことから飼い主による準備が必須になることなどが上げられる。今後、ペットにも配慮した避難訓練の実施に向け、検討していきたいと考えている。

一文 今回の避難訓練からは実施できる感じだがどうか。
総務部長 飼い主が、やるべき事項、持ち運び用ケージの



ペットを同行した避難訓練の実施を

準備であるとか、感染症を防ぐためのワクチンの接種、また避難所においてはペット用の備蓄食料の準備が必要となる。そういったペットの避難に対する意識、周知徹底に取り組んだ上で、今後検討していきたい。

教育行政について



新垣 勇太 議員

糸満市立学校通学区区域審議会について、校区外に進学したい場合の市の対応を伺う。

教育長 学校教育施行令に基づき定められた糸満市立小学校及び中学校の指定通学区区域に関する規則により、児童生徒が小中学校に入学しようとするときは、その保護者が住所を有する通学区区域内所在地の小中学校に入学しなければならぬと定めている。しかしながら、特別な理由があるときは指定学校の変更を行うことができる。校区外への進学については、指定校変更許可基準をもとに判断する。

新垣 特別な理由とはどのような理由か。

教育委員会指導部長 学年途中の転居や心身的理由、いじめ等の問題が指定校変更の基準になっている。



指定校変更許可基準に部活動の追加を望む

新垣 部活動に関しての特例として、指定中学校に所属したい部活動がない場合は、規則に変更基準として特別に取り入れることは可能か。

教育委員会指導部長 現在の基準では部活動での理由は認めていない。しかし、所属したい部活動がない場合も実際にあるので、続けたいと思う生徒への配慮は必要かと考える。基準の変更については、時間を要すると思うが、所属した部活動を3年間頑張っているなど一定条件等をつけて変更できるような検討したい。

新垣 小学校から続けてきたことを中学校でも続けられるよう前向きに検討して、実現してほしい。



玉村 清 議員

新屋敷区自治会館について

①管理人室を改装したいが、補助金はないか。②玄関ドアの修理や倉庫の改築の補助金はないか。

市長 ①②管理人室の改装と玄関ドアの修理や倉庫の改築の整備については、自治会の活動支援を目的としている地域活性化支援事業の活用が可能である。

玉村 新屋敷区自治会館ができて37年になる。特に近隣のごospel幼稚園、糸満高校の父母会が借りに来るが、玄関が開かないと私のところに連絡が来る。ドア自体が下がっており、初めて開ける人には難しいので、引き戸に変えたい。また管理人室は、現状としては倉庫状態にある。老人会デイサービス、カラオケ教室においても2階に上がるのが厳しいとの理由で来ない人が



新屋敷区自治会館の改装に補助金を

いる。どうか1階の管理人室を利用したい。外にスペースはあるので、そこに倉庫を移して、この管理人室を小会議室に改装したいと思っている。また玄関とかを改装して、外階段もできれば上塗りしてきれいにしたいという考えがある。今回の質問で、地域活性化事業が活用できるとのことなので、ぜひ新屋敷自治会のほうで活用できるように配慮していただきたい。



當銘 真栄 議員

小中学校の日直について

①休校日にシルバー人材センターへ委託している学校現場日直を今年度3月で廃止する理由。②廃止に伴い学校職員への負担にならないか。

教育長 ①次年度以降、小中学校全普通教室への空調設置に係る維持管理費等の増額が想定されることから、既存事業の縮小、廃止も含め、検討を行った結果、同委託業務を終了することになった。②現在委託している日直の業務内容は電話の対応、花壇への散水、飼育動物への餌やり等となっている。次年度から留守番自動応答機器を各学校に設置する予定であり、土日、祝祭日と平日の時間外の教職員の電話対応の軽減を図ることができる。また学校は、勤務時間外はカメラ、機械警備を行っている。花壇への散水や



日直業務の廃止で、教員の負担にならないよう求める

餌やりは、PTAや地域住民の協力等を得ながら対応していただきたい。

當銘 日直を廃止して年間どれぐらいの経費削減になるか。

教育委員会総務部長 小学校10校、990万円、中学校6校で約600万円である。

當銘 他市の状況は。

教育委員会総務部長 近隣については、豊見城市、八重瀬町、南城市は配置がない。南風原町が学校警備員及び学校開放管理指導員を交代で配置しているとの情報を得ている。

當銘 その費用をクレーターの維持管理費に充てることで子供たちの学校環境がよくなると思う。ただ、先生方の負担にならないようお願いしたい。



金城 幸盛 議員

ひとり親家庭生活支援モデル事業について

①平成31年度予算案では、平成30年度より金額にして2097万8000円減額、率にして80%もの大幅カットとなっているのはなぜか。②同事業を継続させるべきだと考えるが、見解を伺う。

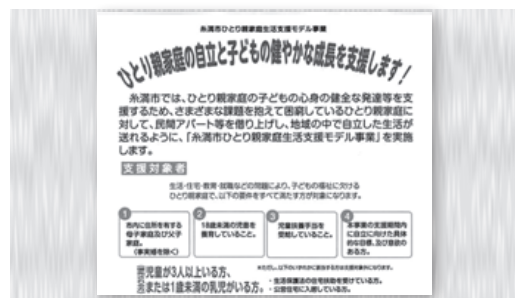
福祉部長 ①平成31年度予算案が減額、大幅カットになっていることは、住居支援対象の実績が4世帯にとどまっている中で、事務費及び一般管理費等の費用が支援実績と比べて大きいことから、運営手法を含めた事業の見直しのための予算計上となっている。

②現在認定したひとり親世帯がいることから、自立支援が途切れることがないように、上程している予算内ですっきり対応させていただきたいと考えている。並行して事業運

営手法や、その体制を含めた効率的な予算の見直し作業を進める中で、関係部局とも調整を図りたい。

市長 平成31年度施政方針の中で、ひとり親家庭への支援など多様な課題への取り組みを強化することを重要施策とされているので、重点施策が実施されるように予算措置も含めて検討されるべきだと思うがどうか。

①平成31年度予算案では、平成30年度より金額にして2097万8000円減額、率にして80%もの大幅カットとなっているのはなぜか。②同事業を継続させるべきだと考えるが、見解を伺う。



糸満市ひとり親家庭生活支援モデル事業のチラシ



上原 勝 議員

防災行政について

①防災まちづくり大賞総務大臣賞を受賞した地域はどこか。②今回の受賞について、市の見解を伺う。③防災教育の一環として紙芝居（絵本の読み聞かせ等）が有効とされるが、市教育委員会の見解を伺う。

市長 ①受賞した地域は、西崎ニュータウン自主防災会である。②今回の受賞は災害時に重要な自助・共助を長年にわたり実践された取り組みが評価されたもので、市としては大変誇らしく思っている。今後は同地域の先進的な取り組みを各自主防災組織の訓練に生かしながら、自主防災組織のない地域においても結成のきっかけにつなげていけるようピーアールしていきたい。

教育委員会指導部長 ③防災

教育はさまざまな危険から児童生徒の安全を確保するために行われる安全教育の一部をなすものである。防災教育の一環として読み聞かせを活用することは、児童の防災意識を高めることも期待できるので、各学校に対し防災関係の書籍の整備について周知を図りたいと考えている。

上原 読み聞かせをすると、子供たちは目を輝かせて見てくれるので、津波の恐ろしさや津波に対する対策等を子供たちにしっかり伝えることができる。ぜひ各小中学校に津波震災に関する紙芝居や絵本を取り扱うよう教育委員会から周知してほしい。



各小学校へ津波震災に関する紙芝居や絵本の整備を

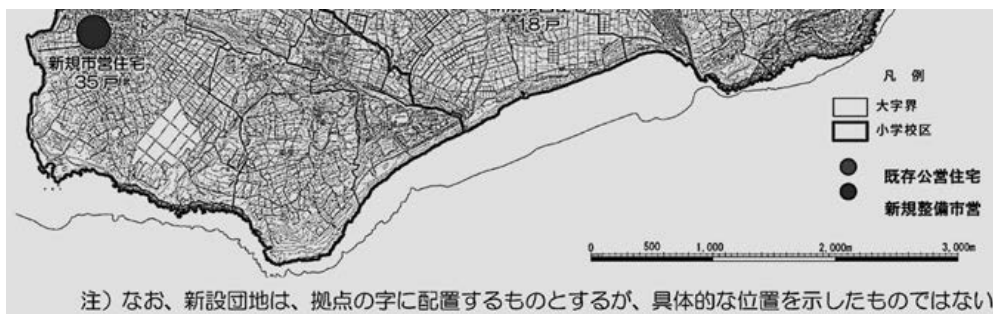


西平 賀雄 議員

喜屋武地域への市営住宅建設について

字喜屋武の昭和55年国勢調査時の人口は、1685名、平成27年国勢調査では999名、40年間で686人も人口減少している。一番過疎化が激しいところだが、喜屋武地域への市営住宅建設の可能性があるか伺う。

建設部長 今年度策定中である糸満市営住宅ストック総合活用計画業務にて、三和地域の喜屋武、真壁、米須の3地区において、地域ゆんたく会を開催し、市営住宅建設の目的や概要等について説明を行いながら、各地区の皆様の貴重な意見を伺うことができた。また市の関係課長からなる幹事会、外部有識者や関係部長からなる検討委員会を各2回開催し、今後の市営住宅整備戸数等の審議を行っている。本計画業務の中で、三和



市営住宅建設が待たれる喜屋武地域（三和地域市営住宅建設基本計画）

地域への新たな市営住宅建設について検討しているところであり、建設候補地等について、3月末の業務期間までに決定する予定である。その後、4月に市のホームページ等に掲載し、市民の皆様へ周知を図っていく。

道路行政について



徳元 敏之 議員

国道331号の南部病院から摩文仁間の道路整備について、①当該道路は経年劣化や老朽化により車道の舗装工事が必要である。市当局の認識を伺う。②当該道路における歩道の未整備地区の整備の必要性について、見解を伺う。③国へ整備要請を行う必要があると思うが、見解を伺う。

市長 ①車道部は米須地区など部分的に舗装改修が行われたところがあるが、わだちやひび割れ等のある箇所が多く、舗装改修の必要性は認識している。②字福地から字摩文仁までの区間に歩道のない箇所があり、歩行者が路肩部分を通行しているのを確認している。③歩道の早期整備については国土交通行政に関する懇親会へ毎年要望書を提出し、要請している。また車道整備



国道331号の整備要請を

についても道路改修を国へ要請していく。

徳元 歩道の未整備地区は、整備計画はあるが進んでいない。なぜ整備が進まないのか。

建設部長 歩道の未整備地区は、国に進捗状況を確認したところ、用地の確保においてまだ合意形成ができていないということである。また、市から何らかの情報が提供されれば、一緒に協力して対応をお願いしたいということである。今後、市としては歩道設置できるように、協力できる部分に関しては積極的に協力していきたい。

徳元 早期にこの道路が整備できるようにお願いしたい。

ひとり親支援拠点施設「系満市マザーズスクエアいいまある」について



伊敷 郁子 議員

①2021年度まで一括交付金を活用し、その後は別の補助金活用で継続するという考えを突然翻し、事業打ち切りに至った経緯と理由を伺う。

②事業再開の意思を伺う。

福祉部長 ①②当該事業は一括交付金を財源としているが、毎年度議会の審議を経て予算が成立することにより継続できるものと認識している。また本事業は、毎年度プロポーザル方式で公募を行った上で委託契約を締結しているもので、次年度以降の事業継続を保証していない。なお平成31年度予算案は、本事業の住居支援対象の実績が4世帯にとどまっている中で、事務費及び一般管理費等の費用が支援実



マザーズスクエア いいまある

績と比べ大きいことから、運営手法を含めた事業の見直しを行うための予算計上となっている。

伊敷 実際に施設を運営する方の話では、施設を退所した後のケアのほうをもっと大事であると思う。この施設がなくなることによって、心のよきところなくなる。一緒に支援してくれた人たちがいなくなる。そういう状態で打ち切るとするのは、本当に何のための施設だったのか。大変憤りを感じる。そもそもこの予算は9月いっぱいまでということだが、9月以降、この事業をなくすということか。

福祉部長 予算の内容を検証して、事業継続できるように企画・財政部門と調整したい。

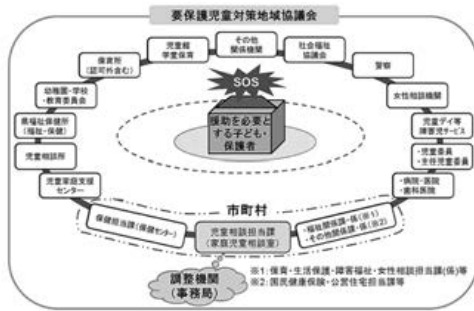


浦崎 暁 議員

児童虐待死・DV問題について

検証委員会について伺う。
①検証する団体名と構成メンバー。②第三者性、客観性の確保。③調査期間と公表。

福祉部長 ①検証する団体名は糸満市要保護児童対策地域協議会、その構成メンバーは児童福祉関係機関、保健医療関係機関、教育関係機関、警察・司法関係機関及び配偶者からの暴力関係機関の職務に従事するものや学識経験者等となっており、代表者会議13名、実務者会議11名となっている。②検証に当たっては、構成メンバーから本事業に関して直接関与した、または直接関与すべきであったものを除斥して行うので、第三者性、客観性は確保されているものと認識している。③要保護児童対策地域協議会において決定するが、会議については5月



要保護児童対策地域協議会（イメージ図）

末の方向をめどとしつつ、十分に検証し討議するため、作業工程の延長を含め柔軟に対応することとなっている。その結果は市長に文書で報告することを想定しており、市長は当該結果を沖縄県に報告するものとなっている。

浦崎 今度の問題については絶対に繰り返してはならないという決意のもとに取り組んでいくべきだ。責任というものをきちんと受けとめるというのをしなれば、同じ問題を繰り返していくのではないかと懸念する。きちんとした内部統制を持って、行政に当たれることを強く求める。



金城 敏 議員

糸満市スポーツ施設等可能性調査について

①調査の目的を伺う。②既存施設の改修または拡充の検討も含まれるか伺う。③調査の中で検討委員会の設置はあるか。設置予定がある場合、委員会の構成案を伺う。

市長 ①西崎運動公園を中心に現状、課題を調査し、市民のニーズを踏まえ、今後の市全体のスポーツ施設の整備のあり方を定め、新たな施設整備の必要性和その概要を明らかにするものである。②調査を通じて必要性があれば既存施設の改修や新規施設導入等も検討していく。③当該業務の中で委員会設置を予定している。委員会の構成としては、学識経験者、市内の運動施設配置や協議等に精通した専門家、市幹部職員等で予定して



西崎陸上競技場

いる。
金城 西崎陸上競技場には、日本陸連のオリンピック級の選手たちの短距離の合宿は来るが、長距離の合宿は来ない。これは土のグラウンドがないからである。長距離選手は足に負担がかかるので土を好む。そういったことも今回の可能性調査でしっかりと取り入れてほしい。空港から近いところなので、いろんなチームが合宿に来ると思う。また写真判定機つきの競技場ですばらしい施設だが、サーチライトについて、夜間に照らすライトがついていない。非常に見えづらい状況になっている。こういったところもぜひ整備してほしい。

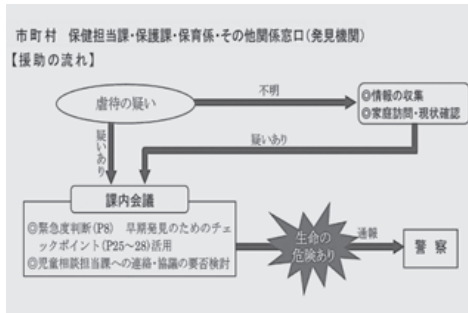


菊地 君子 議員

小4児童の虐待死について

①面前DVをどのように認識しているか。②一連の流れの中で、市や教育機関の対応に疑問を持つが、反省すべき点はないか。③今後の対策は。

福祉部長 ①DVは重大な人権侵害と認識している。保護者がDVを受けていることを児童が目当たりすることには、面前DVとして心理的虐待に当たると認識している。②市は住民から情報提供があった後、直ちに受理会議を行い初期対応の方法を協議の上、学校や病院からの情報収集や家庭訪問を試みて実態の把握に努めたが、虐待の不安要素を確認することはできなかった。市や教育委員会の対応については、現在、要保護児童対策地域協議会で検証を行っており、その検証の結果を踏まえて、改めるべき点



再発防止策が求められる

があればしっかりと反省するとともに、児童福祉の向上に生かしていきたい。③現在、国や県と協力を得ながら検証を行っている。検証結果を踏まえ、子供の安全を最優先する基本的認識を徹底し、今後の再発防止策と支援のあり方など、児童虐待防止対策に努めていく。

菊地 本市がきちんと情報を収集して、野田市に申し送っていただければ、この子の命は救われた。虐待やDVについて申し送りしたか。

市民健康部長 こども未来課でDVの申し送りがなかった部分だが、母子保健情報としてはDVの疑いがあると認識しており、ハイリスク世帯として情報提供をしている。



玉城 安男 議員

(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター建設について

①財源、収入、維持管理費等の進捗状況を伺う。②Fステージ潮崎の住民との話し合いはどのようになっていくか。

市長 ①管理運営実施計画については、維持管理費の見直しを行っており、3月末で取りまとめる予定である。総事業費は、建物建設費、展示工事費、備品費、駐車場及び外構整備費合計で45億5500万円となっている。財源については、事業費の8割は沖縄振興特別推進交付金を活用する予定で、残る2割は起債となる。

企画開発部長 ②本事業の説明会を平成30年6月7日に市長、副市長及び事務局出席のもと開催した。意見交換において、一括交付金の担保、維持



計画的な財政運営が求められる

管理費の市民への周知、事業費に対する起債の考え方、工事の時間帯、近隣住民への事前説明、再々質問の提出など多岐にわたる意見に対し、誠意を持って回答している。

玉城 今後、同センターの建設費が高騰し、財政を圧迫する可能性がある。さらに後年度負担の増により、財政運営の硬直化が進展する。行政サービスの低下や市民負担増とならないような行財政運営が必要であるが、考えを伺う。

総務部長 他の市民サービスに影響がないように計画的な予算編成による財政運営を進めていく。同時に行財政改革も着実に実施し、財政再建化に向けて取り組んでいきたい。

議会改革調査特別員 会中間報告の件について

- 議会改革調査特別員会は、平成29年12月25日から平成31年3月20日まで、計20回開催し、平成31年第3回定例会において中間報告を行いました。
- ①「糸満市議会の議員及び委員の派遣に関する要綱」の策定。
 - ②隔年度で予算計上されていた公費による会派視察の廃止。
 - ③政務活動費の増額の要望。
 - ④政務活動費の領収書をホームページに公開。
 - ⑤「糸満市議会政務活動費の手引き」の作成。
- 今後、議会改革を進めるため、議会基本条例の制定に向けて議論していきます。
- なお、中間報告書は市議会ホームページに掲載しています。

○議会を傍聴してみませんか、どなたでも傍聴できます

傍聴を希望する方は、本会議当日、市役所4階本会議場までお越しください。

傍聴するにあたっては、議事に支障を来しますので私語を慎み、携帯電話のマナーを守りましょう。

また、糸満市のホームページから糸満市議会の本会議（ライブ・録画）を視聴することができます。

詳しくは市議会事務局まで。（TEL. 098-840-8100）

平成31年 第3回定例会議案等処理結果

事件番号	件 名	議決結果
議案第3号	平成31年度糸満市一般会計予算	原案可決
議案第4号	平成31年度糸満市人材育成事業特別会計予算	〃
議案第5号	平成31年度糸満市国民健康保険事業特別会計予算	〃
議案第6号	平成31年度糸満市介護保険特別会計予算	〃
議案第7号	平成31年度糸満漁港ふれあい公園事業特別会計予算	〃
議案第8号	平成31年度糸満市土地区画整理事業特別会計予算	〃
議案第9号	平成31年度糸満市後期高齢者医療特別会計予算	〃
議案第10号	平成31年度糸満市農業集落排水事業特別会計予算	〃
議案第11号	平成31年度糸満市水道事業会計予算	〃
議案第12号	平成31年度糸満市下水道事業会計予算	〃
議案第13号	平成30年度糸満市一般会計補正予算（第7号）	〃
議案第14号	平成30年度糸満市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第15号	平成30年度糸満市介護保険特別会計補正予算（第4号）	〃
議案第16号	平成30年度糸満市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第17号	平成30年度糸満漁港ふれあい公園事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第18号	平成30年度糸満市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第19号	平成30年度糸満市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第20号	平成30年度糸満市水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第21号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償の特例に関する条例の制定について	〃
議案第22号	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の制定について	〃
議案第23号	糸満市部設置条例の一部を改正する条例について	〃
議案第24号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第25号	糸満市職員定数条例の一部を改正する条例について	〃
議案第26号	糸満市職員の給与に関する条例及び糸満市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第27号	糸満市ふるさと応援寄附金条例の一部を改正する条例について	〃
議案第28号	糸満市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	〃
議案第29号	糸満市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第30号	糸満市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	〃
議案第31号	糸満市介護給付費準備基金条例の一部を改正する条例について	〃
議案第32号	糸満市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	〃
議案第33号	糸満市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	〃

事件番号	件 名	議決結果
議案第34号	糸満市立学校設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第35号	糸満市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用に係る利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第36号	糸満市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第37号	糸満市立保育所設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	〃
議案第38号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更について	〃
議案第39号	教育委員会委員の任命について	同 意
議案第40号	指定管理者の指定について（糸満市障害者地域活動支援センター陽だまり）	原案可決
議案第41号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	〃
議案第42号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	〃
議案第43号	工事請負契約について（（仮称）糸満のくらし体感施設新築工事）	〃
議 員 提 出 議 案 第1号	糸満市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議 員 提 出 議 案 第5号	「議案第3号 平成31年度糸満市一般会計予算」に対する附帯決議の提出について	〃
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情書	採 択
議 員 提 出 議 案 第2号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書の提出について	原案可決
	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情	採 択
議 員 提 出 議 案 第3号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について	原案可決
	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情	採 択
議 員 提 出 議 案 第4号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について	原案可決
	西崎屋内プール料に関する陳情の件	採 択
	閉会中の継続審査（調査）の申し出	決 定
	議員派遣の件	〃
	消費税率10％への引き上げ中止を求める陳情書	継続審査
	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書	〃
	消費税10％への「増税中止」を求める陳情	〃
	普天間基地5年以内運用停止の遵守を求める議会決議の陳情	〃
	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	〃
	所得税法56条を廃止するよう国に意見書の提出を求める陳情書	〃
	「（仮称）糸満市文化・平和・観光振興センター」建設についての陳情書	〃
	「議会基本条例の制定」についての陳情書	〃